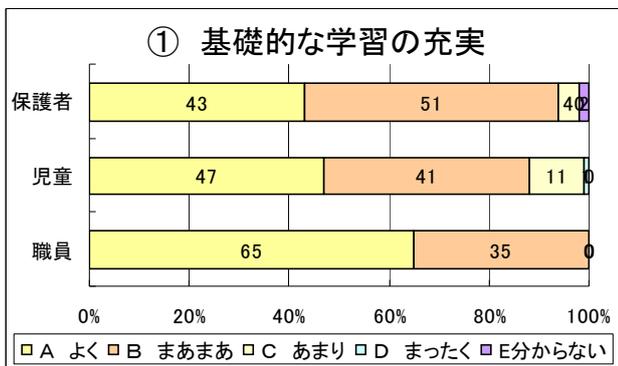


ようやく春めいてまいりました。保護者の皆様におかれましてはご清栄のこととお喜び申し上げます。日ごろは本校の教育にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、12月に実施しましたアンケートの結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。このアンケートの結果を真摯に受け止め、来年度の教育活動に生かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

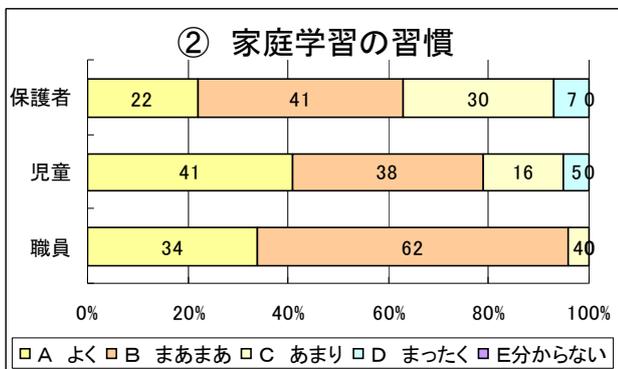
A よくあてはまる	B どちらかというにあてはまる
C どちらかというにあてはまらない	D まったくあてはまらない
E わからない	

H.24.12.10 実施  
回収率 93%



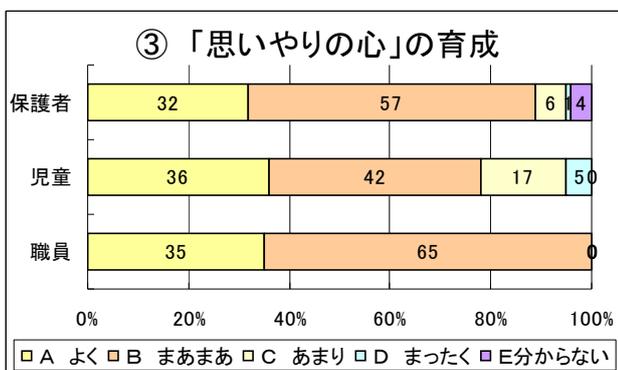
○基礎的な学習が定着できるように行っている、複数の教師による指導や、漢字大会・計算大会への取組に対して、今年度も保護者から肯定的な評価をいただきました。

→今後も、子どもたち一人一人にできる喜びを味わわせ、自信がもてるように、個別指導を充実していきます。



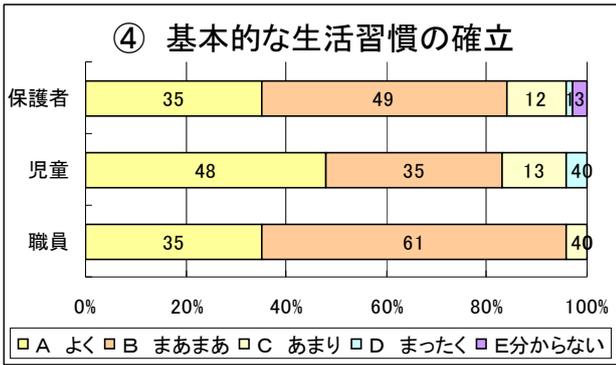
○今年度初めての調査です。職員は家庭学習の習慣をつけようと計画的に課題を出しています。それに対して、児童の41%は家庭学習に進んで取り組んでいると答えていますが、保護者は22%しか認めていません。保護者は、子どもに、もっとやってほしいと思っているようです。

→どの子にも合うような内容と量の課題を出すのは難しいところがあります。低学年では習慣づけを、高学年では自主学習を進めていきます。



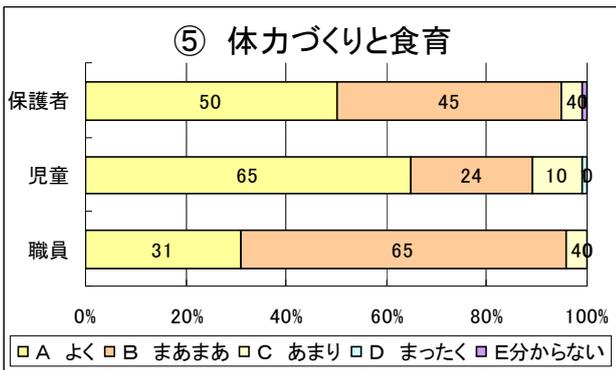
○約9割の保護者から肯定的な評価をいただきました。たてわり活動への取組については、記述欄でも継続を望む声が大きかったです。

→今後も、思いやりの心をもって、相手の気持ちを考えて行動できるよう、道徳の授業の充実を図り、日常生活の中での指導を繰り返していきます。



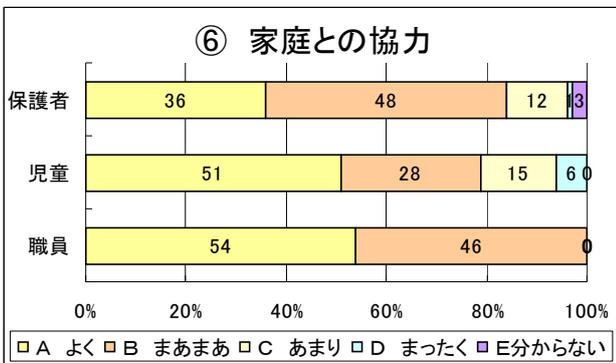
○あいさつや返事をするよう、職員は指導していますが、17%の児童が、まだ自分に合格点を出していません。保護者も子どもの様子を的確に評価されていると思われます。

→あいさつや返事は、社会で生きるうえでとても大切なことです。子どもたちが進んであいさつや返事ができるよう、今後も指導を繰り返していきます。



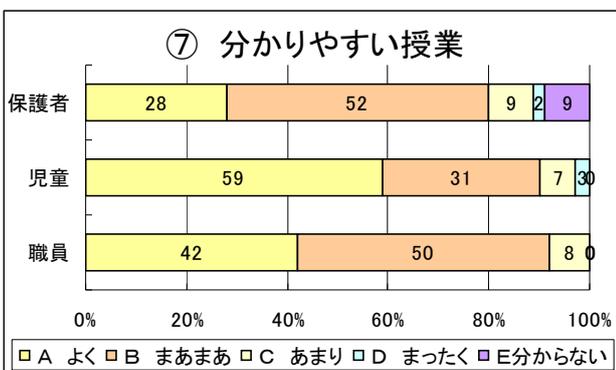
○児童の89%がよく運動できたと評価しています。Aランクが多いのは、それだけ達成感があったのだと思われます。保護者からも見学を通して、高い評価をいただきました。

→マラソン、なわとび、外遊びに、今後も取り組んでいきます。食育についても、栄養教諭とともに、すこやかカードなどを通して、充実を図っていきます。ご協力をお願いします。



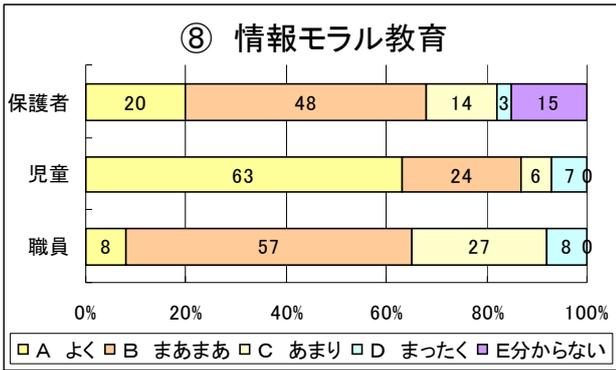
○職員は昨年に比べて、Aランクが8%増え、細やかに連絡をとっていることが分かりました。保護者の84%の方がそれを肯定的に評価してくださっています。

→子どもたちが学校でどんな活動をしているか、学級・学年だよりなどで情報発信していきます。今後も、家庭と連絡を取りながら子どもたちの指導を進めていきたいと思えます。よろしくお願いします。



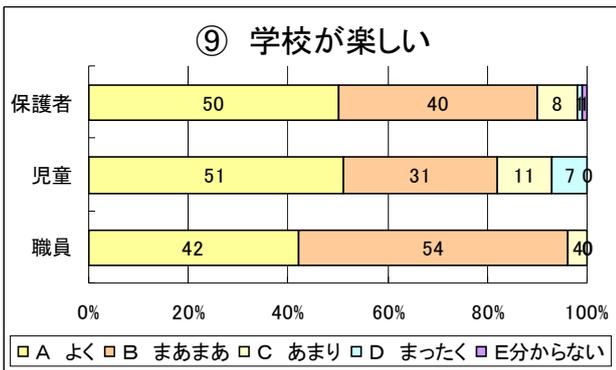
○職員はAランクが14%増え、児童の評価に近づきました。否定的な評価をしている児童が減ることで、保護者の肯定的な評価がさらに増すと思えます。

→どの子にもよく分かる授業になるよう、説明を工夫したり、習熟度別学習を取り入れたり、今後も工夫していきます。



○職員の肯定的評価が、42%から65%に増えました。自信をもって児童への指導をする職員が増えたのとらえています。ただし、保護者と同じ程度の否定的な評価があり、「これで十分だ」という意識がもてていないのも事実です。

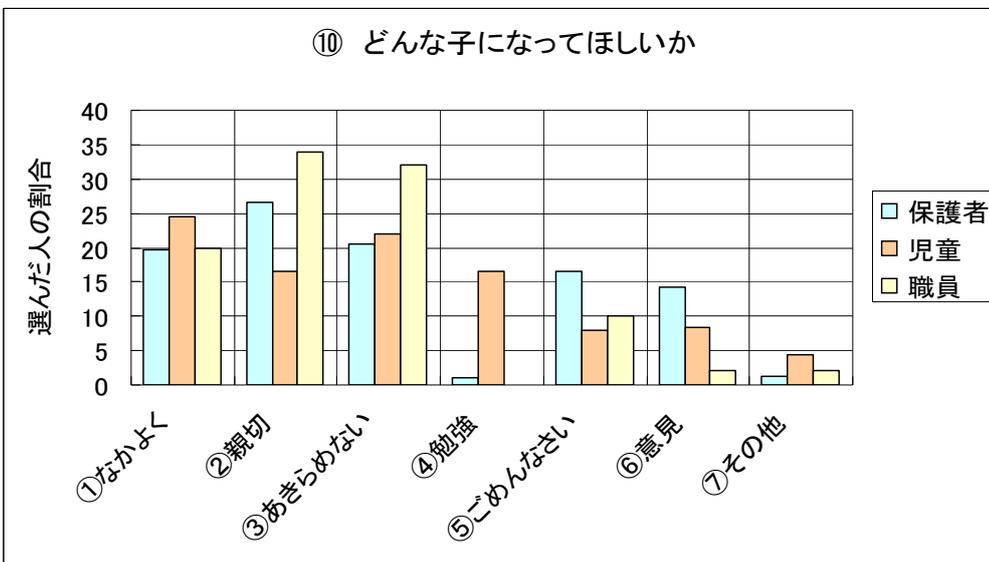
→今後も職員の研修をすすめ、新しい情報を子どもたちの指導に生かしていきます。なお、学校のホームページに、参考資料がありますのでご覧ください。



○3者の評価が同じようになってきました。今年も各学級が工夫をこらして温かい学級づくりを進めてきました。82%の児童が、学校に行くのを楽しみにしています。

→どの子にとっても、居心地のよい学級づくりを今後も進めていきます。児童が前向きな気持ちになれるよう、ご家庭でも励ましの声かけをお願いします。

以下の調査にも、ご協力いただき、ありがとうございました。



- ①友達と仲良くできる子  
(身近な人と、よいかかわりがもてる子)
- ②思いやりのある優しい子  
(ひとに親切にできる子)
- ③地道な努力を継続できる子  
(簡単にあきらめないで、がんばる子)
- ④勉強ができる子
- ⑤間違いに気付いたら、素直に謝れる子  
(ごめんなさいが言える子)
- ⑥自分の意見をはっきり言える子
- ⑦その他

#### 傾向

- ・②③①が、保護者と職員のベスト3で、児童のベスト3は、①③②の順になりました。大人が思いやりを重視しているほど、児童はそう思っていないことが分かります。思いやりよりも友達と仲良く過ごすことの方が、児童にとっては大問題のようです。
- ・④は3者の違いがはっきりしました。保護者も職員も、勉強ができることも大事だけれど、それよりも①～③の方が大事だと考えています。けれども、職員は子どもに勉強ができるようになってほしいという願いをもって勉強を教えていますし、保護者も勉強ができることを喜んでくれます。児童は大人のそういう気持ちを感じとって、それに応えようと強く思っているようです。

## [保護者の皆様からのご意見]

保護者の皆様からたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます。主なものを以下に紹介させていただきます。

### [継続してほしいこと]

[思いやりの心] 6名の方から同じようなご意見をいただきました。

- ・たてわり活動ではちがう学年の子と関わり、やさしい気持ちで接することができ、よい活動だと思えます。
- ・たてわりで遊んでもらったお姉さんと、放課後、運動場で会っても仲間に入れて遊んでくれたり、優しくしてもらえたりしてありがたいです。自分の子も、小さい子に優しくできる子になってくれるといいなと思えます。
- ・児童館で遊んでいる時、たてわりの時の上級生と会って楽しく過ごした話などしています。姉妹がいないので、年上の人と遊ぶ機会がないので、たてわり活動は嬉しい活動です。今後は年下の人にも思いやりができるとうれしいと思っています。

[体力づくり] 10名の方から同じようなご意見をいただきました。

- ・なわとび運動は自分で目標をたて、たくさん練習していました。できたとき誉められるのがすごく嬉しそうで、これからも続けてほしいです。
- ・定期的にある運動活動はすごくいいと思えます。
- ・なわとび集会などを通じて、目標に向かって努力する姿勢が見られるようになってきました。これからもがんばったことが自信につながるような活動をお願いします。
- ・なわとびやマラソン運動は、基礎体力を向上させるので、たいへんよいと思えます。

### [その他]

- ・漢字大会・計算大会は子どものはげみになるので、今後も続けてほしいです。
- ・漢字大会・計算大会で今年初めて100点を取り、すごい自信につながりました。うれしくて走って帰り、テストを見せてくれました。今後も続けてほしいです。
- ・読書活動は今後も今までと同じく続けてほしいです。
- ・あいさつは、2～3年前よりは、できる子が増えたかなと思えます。これからもあいさつ運動を続けてほしいと思えます。
- ・自然にあいさつもできるようになってきたと思えます。子どもたちからのあいさつではないですが、大人から進んであいさつすることにより、子どもたちに浸透していったらいいと思えます。社会人になって、あいさつのできない大人は、社会的に問題がありますから、あいさつくらいはできるように、自分の子も他人の子も、していきたいです。
- ・アンケートの資料を見て、5年生の算数で、習熟度別学習を取り入れていることをしりました。我が子は5年生ではありませんが、算数は苦手（人より時間がかかる）なので、なんだか安心しました。私が小学生の時は、スクールアシスタントの先生はいませんでした。子どもたちに目もとどいていいと思えます。今後も続けてください。お願いします。
- ・ほぼ毎日宿題があり、助かっています。まだ自分から勉強することはないので、毎日少しでも宿題をすることで勉強が身に付けばいいかなと思えます。
- ・「いのちの授業」で、様々な分野の方のお話を、大人も子どもも一緒に聞いて話し合う機会があるといいなと思えます。
- ・英語やパソコンを使った授業をこれからも続けてほしいと思えます。
- ・お花のある町、花壇作業は続けてほしいです。自然にふれてほしいです。

さまざまな角度からのご意見、ありがとうございます。お気持ちを受け止め、今後もしっかりと対応していきたいと思えます。